

質 疑（代表質問）

発言者 大 山 高 子

発 言 の 要 旨（その１）
1 財政について
(1) 現在の本市の財政状況に対しての受け止め
(2) ネーミングライツ事業の、さらなる成立に向けた今後の取組
(3) ふるさと納税制度の、今の状況をどのように考えるのか。
(4) ふるさと納税及び企業版ふるさと納税の、さらなる取組の考え
2 防災対策について
(1) 災害時の避難所の通信環境の現状と、今後の取組の考え
(2) 新総合防災情報システム——SOBO-WEBの活用についての考え
(3) 避難所の総点検の結果を踏まえ、スフィア基準をどのように取り入れ、計画的に進める考え
3 安心の医療提供体制について
(1) 年末年始の医療体制を強化する考え
(2) 救急電話相談の充実を県に要望する考え
(3) 市民への医療機関の受診に関する情報提供を、強化する考え
4 認知症対策について
(1) 国の認知症施策推進基本計画を踏まえた、本市の対応
(2) 今後の新しい認知症観の普及のためにも、ユマニチュードの技法を活用した、具体的な取組についての考え
5 市営住宅の活性化について
(1) 市営住宅の高齢化と、空き部屋問題に対する現状認識
(2) 市営住宅の活性化のために、子育て世帯の入居要件を拡大し、子育てする人なら誰でも入居可能とすることや、一般募集枠とは別に、学生向けの優先募集枠を設けるなどの考え

発 言 の 要 旨 (その2)

(3) 自治会が消滅した市営住宅の住民が、災害時に適切に避難できるよう、どのような支援策を考えているのか、また、自治会がなくても機能する防災体制を、どのように構築していくのか。

6 地域になくてはならない病院について

(1) 今後のコロナ後の厳しい状況の中で、第5次高松市病院事業経営健全化計画に基づき、持続可能な病院経営を目指すことについての決意

(2) 今後さらに深刻化する看護師不足に対応するための、具体的な対策についての考
え

(3) 看護師の質の確保について、どのように取り組む考えか。

7 市立小中学校体育館への空調整備について

(1) 今後どのような基準で、学校の選定や順序を決定するか。

(2) 発注方法や整備手法での工夫によって、短期間で整備を進めることや、学校の授業や行事等への影響を抑えることが可能であるが、本市の考え

(3) 国の明確な基準がない中で、本市として、どのように断熱・遮熱対策を進めるのか。

(4) 避難所機能の強化として、中学校区ごとに1校程度、災害時を想定した自立運転機能付きガスヒートポンプエアコンと、ガスタンクを設置することについての考え

(5) P F I一括発注において、市内企業が参画できるように配慮する考え